



オリーブ通信

2020年
5月号
2020. 5. 17. 発行
第 222 号

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusats>

新型コロナ感染拡大防止のため、オリーブも2月29日から休講に入りましたが、さらなる感染の拡大を受け、当面の休講延長を決定しました。休校が続く学校では5月6日のGW明けを再開のめどとしていますが、その後緊急事態宣言が全国に拡大され(4月16日)、博物館や図書館はもとより、商業施設まで休館が相次いでいます。



オリーブの日本語教室再開の予定も立たない中で、オリーブ通信4月号は休刊しました。5月号はなんとかみなさまに手渡せたらと願って編集しました。

中川先生のへんてこ日本語

117

日本語教育はどうなるの？



「間もなくすると、電車が左右に大きく揺れます。つり革、手すりなどにしっかりとおつかまりください。」こんな車掌さんのアナウンスは聞かれなくなりました。「間もなくすると、電車が左右に大きく揺れます。」だけは言っているが、こう言っておかないと、事故でもあったら車掌さんの責任になる。あとの判断は自分でしろというわけである。新型コロナウイルスの感染予防のため、つり革、手すりを持たない人が多くなった。アナウンスの間かれなくなつたことを寂しいとか、うれしいとか言うのではなく、むしろ早く当たり前の日常生活に戻してほしいものだ。

このウイルス騒動のために、経済界や観光業界への打撃がテレビやマスコミ等で叫ばれるが、日本語教育が大きな痛手を被っていることは、どこでも話題にしてくれない。4月から新たに来日を予定していた留学生は来日できなくなるし、海外で日本語を教えていた教師も帰国を余儀なくされている。日本留学に大きな夢を抱いていた学生は、志を奪われ、日本語教師として海外で羽ばたこうとしていた人たちは、夢を砕かれるどころか、仕事もなくなってしまう。

留学生がやって来なくなると、日本語学校の経営が苦しくなり、大学として、キャンパスが閑散とする。留学生に頼っていた、コンビニや飲食業のアルバイトも人材不足を来す。

いったん落ち込んだ消費経済を元に戻すのが大変なように、日本語教育熱を再び湧き起こすのは容易なことではないかもしれない。

先の電車のアナウンスが聞きなれた注意喚起に戻ると同時に、様々な言語の飛び交う日本に戻りたいものだ。

昨今のおかしな日本語も、元の美しい日本語に戻すのは難しいのだろうか。

京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄

近江八幡の足伏走馬、野洲のお田植え祭、大津市の大津祭、とGWのお祭も今年中止となりました。京都の葵祭も。せめて、イラストで偲びたいと思います。



pixta.jp - 7622744

インドネシア滞在記

夫の転勤にともない、小さな子供を抱えての外国暮らし。ご苦労も多かったでしょう。その折に親切にいただいたお礼がしたいとオリーブに来ていただきました。その体験を寄稿していただきました。

古川 雪峰

今から25年ほど前、1995年の春、私は1歳になったばかりの長男を連れてジャカルタのスカルノハッタ空港に降り立ちました。インドネシアの首都ジャカルタでの初めての海外生活のスタートでした!!
トラップをぬけると、少し前から先に滞在していた夫がゲートで迎えてくれました。

早速、運転手付きの自家用車で家へ向かいました。
外国人は危ないので運転しないほうがいいらしい…そのわけはすぐ分かりました。
とにかく、車が多いのです。2車線道路なのに5台くらい並んでぎゅうぎゅうに走っています。そしてどの車もクラクションを鳴らしっぱなし!!無理やり割り込まないと、行きたい方向に進めません。

ヒヤヒヤしながら車にゆられ、ようやく到着した私たちが住む家は、大きな木と大きな家が並ぶきれいな通りにありました。どの家も中が見えないくらい高い塀に囲まれていました。

その一軒の前で、運転手がプツとクラクションを鳴らすと、鉄の大きな門があきました。開けてくれたのは、白い歯の笑顔がとてもチャーミングなお手伝いさんでした。庭には、ハイビスカスが咲いていました。

中に入ると、部屋は天井が高く木製の扇風機が回っていました。床は大理石でピカピカ、正確な広さは覚えていませんが、とにかく広々としていて、つかまり立ちの息子がつかまるところがなく、ハイハイで長々と動き回っていたのを覚えています。



最初の難関は言葉でした。お手伝いさん、運転手をはじめ、関わる全ての人インドネシア語です。とにかく勉強しました。訪問してくれる先生を紹介してもらい、家で授業を受けました。幸い、インドネシア語は発音がカタカナ風でも通じるので、簡単な日常会話はできるようになりました。買い物も、片言のインドネシア語でなんとかこなしました。

もうひとつ苦労したのは、水です。当時の家は、家専用の井戸があり、その水を電動ポンプで汲み上げて水道から出る仕組みになっていました。井戸水そのままなので、ちょっと口をゆすいただけでも、お腹を下す感じでした。ミネラルウォーターを大きなボトルで何本も買い、歯磨きの水からご飯を炊く、味噌汁を作る、野菜を茹でる、とにかく全てにミネラルウォーターを使いました。神経質なお宅では、赤ちゃんのお風呂もミネラルウォーターにしていると聞きました! 私たちはさすがにお風呂は井戸水を使っていました。

息子が2歳になった時、日本語で対応してくれるという幼稚園に行かせることにしました。園児は2~5歳、日本人とインドネシア人がほぼ半分ずつで、先生は皆インドネシア人、片言の日本語を話す感じでした。広い講堂のようなところで冷房はありませんでしたが、窓を開け放つとそこまで暑くなかったように思います。

面白かったのは、2歳児からの保育なので皆よく泣くのですが、子供が泣きやまなくて困ると、先生が外の屋台(Warung)に抱っこして連れて行って、コーヒー飴(Kopiko)を買って口に入れてくれるのです。日本では考えられないことですが、そのころの私たちはインドネシア流に慣れていたのも、あまり気になりませんでした。



息子を迎えに行くと、幼稚園横の屋台の前を通ると、店のお兄さんがいつも息子の名前を呼んで手を振っていたので、コーヒー飴の常連だったんだと思います。屋台では他に、揚げバナナ(Pisang goreng)やテンパイ(tempe)、瓶入りのアイスティー(Teh manis)などを売っていたのを覚えています。

インドネシアはとにかく子どもを大切にしてくれる温かいところでした。道ゆく人が皆、息子に声をかけてくれました。レストランへいけば、人気者でした。食べている間、ウェイター、ウェイトレスさんたちが、皆で息子と遊んでくれました。

熱帯の暑い空気、青い空と太陽、透きとおる海、突然のスコール、人々の真っ白な歯とチャーミングな笑顔。なつかしく思い出します。
はじめての子育てと文化の違いを同時に経験しながら生活したインドネシアでの2年間は、私の視野を大きく広げてくれました。(古川 雪峰)



3月のスタッフミーティングの翌週、スタッフ有志でトルコ料理店を取材がてら会食をしました。緊急事態宣言が出された今の状況から考えるとなんと軽率な行為かと反省しますが、「来週からはオリーブも再開できるよね」などと楽天的に考えていたころの出来事ということでお許しください。



世界の料理 食べ歩き 京都で トルコ料理を食す

滋賀県の各国料理店もそろそろネタが尽きてきて、今回は京都市内のトルコ料理店「イスタンブールサライ」を訪れました。予約後のコロナウイルスの感染拡大に迷いながら実施に踏み切りましたが、客は私たちの他に2組、広々と間隔をあげた店内で、各自手をアルコール消毒のち、食事を始めました。

まずはドリンク:「**アイラン**」塩味のヨーグルトドリンク。機会があれば一度は味わいたい不思議な味です。

ボモンティ(17世紀末から続くトルコ最古のビール)アジアのビールより深い味わい

その後

前菜盛り合わせ:**フムス**(ひよこ豆のペースト)などのペーストをエキメッキというパンに塗って食べる。酸味があったりピリ辛だったり変化に富んだ味わい。

一品料理:**マントウ**(トルコ風水餃子のヨーグルトソースかけ)「マントウ」って、中国の肉まん「饅頭(マントウ)」の起源?ほんとかな?

ヤブラックサルマ(ブドウの葉のピラフ包み)。イランや東欧、コーカサス地方にも多い煮込み料理。

キョフテ(ラム肉で作ったハンバーグを炭火焼きしたもの。)メインディッシュ。臭みもなく、食べごたえのあるお肉です。



← キョフテ。添えてあるのはライスとサラダ



←ヤブラックサルマ

前菜盛り合わせ → 手前の白いのがひよこ豆のペースト。奥の別皿がエキメッキ。

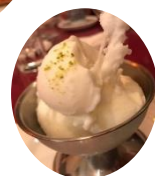


← ひき肉のピデ。香ばしくておいしい。ピザと違ってチーズはのってなかったかな?

パスタ: **ピデ**(薄いパン生地にはひき肉などの具材をのせて焼いたもの。「ピデ」=「ピザ」? これはありうる連想。

デザート: **ドンドルマ**(ほら、あの伸び~るアイスクリーム!)

トルコ風コーヒー(粉ごとポットで煮だして、そのままカップに注ぎ、上澄みを飲むタイプ)。



と、注文していきましたが、メニューが多くて見るだけでたいへん! さいわいトルコ旅行経験者が3人もいらして、そのアドバイスでなんとかコース風に注文できました。

「世界三大料理」は「フランス料理、北京料理、トルコ料理」を指すようです。中央アジアの遊牧民の料理と地中海料理の影響を受けて、民族の十字路らしい変化に富む料理でした。さて、この世界の料理食べ歩き、いつ再開できるのやら。(福井)



先月の活動(4月)

日本語教室：4月はすべて休講でした。

その他、会議などの活動の報告もありませんでした。



今月の活動予定 (5月)

日本語教室 当面、休講
5月9日再開のめど?

各種会議の予定も未定です。



新型コロナウイルス感染症の拡大により

帰国困難者は在留期間が3ヶ月延長されます

出入国在留管理庁の発表によると、3~6月に在留期間の満了日を迎える外国人の在留期間更新や資格変更の許可申請を満了日の3ヶ月後まで受け付けるということです。コロナウイルスの感染拡大により、前回の1ヶ月延長からさらに3か月延長に延長されました。



会員の動き(3・4月)

〈入会〉なし

〈休会〉なし

〈退会〉なし

対面しなくてもできる日本語教育の方法を公開してください

新型コロナウイルスの感染拡大により、オリーブの日本語教室も突然の休講となりました。休講の長引く中、学習者さんの自宅学習を支援する方法が分かりません。でも、これを機にオンライン授業などの方法をオリーブの中に蓄積していければ、全体的な休講措置でなくても、自分が教室を休まねばならないとき、検定前の学習強化などに使えるのでは？オリーブメンバーリストによるやり取りの中でも、オンライン授業、LINEによる授業、YOUTUBEを活用した学習などのアイデアが出されていました。この方法を分かりやすく説明していただければと思います。YOUTUBEも動画の種類が多すぎてどれがよいのやら分かりません。どうか、ネット・モバイル弱者に救いの手を！



お願いするばかりではいけないので、私も一つサイトを紹介

MATCHA やさしいにほんご

「MATCHA」は各国の言語で日本の各地を紹介する旅のサイトですが、「MATCHA やさしい日本語」で検索すると、ルビ付きのやさしい日本語で日本、日本文化について紹介しているサイトに行けます。N4レベルでも読み物として読めそうです。やさしい日本語で言い換える方法や日本を紹介する言い方を学べるので日本語教師にもおすすめです。

東京オリンピックは延期されましたが、実はオリンピック以上に、今年私が待ち望んでいるものがあります。それは北海道に開館される第8番目の国立博物館「国立アイヌ民族博物館」です。その事前学習にぴったりのアニメを見つけました。「ゴールデンカムイ」。2018年手塚治虫大賞を受賞したマンガのアニメ化です。アイヌ語監修は中川裕氏、アイヌ風俗監修は瀬川拓郎氏。

ともにアイヌ語アイヌ文化研究の第一人者です。

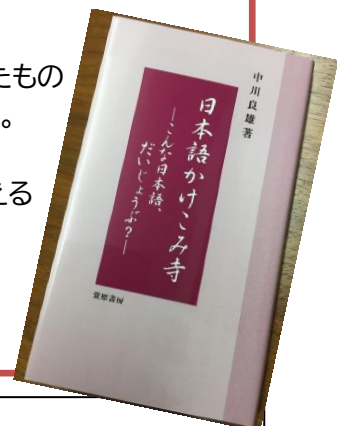
お二人の本も読みました。Amazonプライムで視聴できます。日本語とは全く違う言語、独自の文化。「罽籠り」の徒然にいかがですか？



中川先生の『へんてこ日本語』が

ついに 本になりました!

オリーブ通信に連載されていたものをアレンジして、出版されました。駆け込み人が日本語の不思議を住職に相談し、住職が解答を与えるという形で108の説法。読みやすく面白いですよ。萱原書房 ポケットサイズ 1200円+税



《 編集後記 》

オリーブ休講の延長で、2ヶ月以上学習者さんにお会いしていません。学習者さんはもうこのまま来なくなるのではないかと不安で、一つの間人間関係が突然断ち切れ、私の役割が終わったようでとても落ち込みました。しかし、その後のコロナウイルスの世界的な感染拡大を見ていると、これは、個人的な出来事ではなく、戦争を知らない世代が初めて経験する世界的な事件だと感じました。しっかり事態に向き合いながら、この経験と、事態を少しでも改善する具体的な方法を未来に伝えていかなければなりません。オリーブとしても、そのための知恵の蓄積ができればと願います。(フクイ)